

札幌市環境白書に関する環境審議会（第1回～第5回）での主な意見と対応

質問・意見	白書への反映
各施策等の評価について	
<p>環境基本計画に関わる各個別計画が何を指している、現状との差がどのようになっているかを分かるようにしてはどうか。（各個別計画と紐付けし、分かりやすくまとめてはどうか）【石井副会長（第2回）】</p>	<p>令和元年度から、第2章各節（環境基本計画における各施策の柱の実績等）において、主な関連計画の概要及び当該計画における目標・指標の進捗状況について掲載した。 また、その上で、環境基本計画で示す施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととし、環境基本計画で掲げる目標や指標の達成へ向けた進捗を把握できるようにした。</p>
<p>・どういった観点で各施策や個別計画を評価するのか、評価の原則（基準・評価記号の根拠）のようなものを記載した方が良いのではないか。【遠井委員（第3回）】 ・各関連個別計画の目標及び指標の達成状況の表について、ただ表だけを最後に示すのではなく、「何をすれば○から◎になるのか」等、環境基本計画を進める上での課題等に係る説明（考察）が必要かと思う。【山中会長、石井副会長（第3回）】</p>	<p>令和元年度から、第2章各節において、環境基本計画で示す施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととし、環境基本計画で掲げる目標や指標の達成へ向けた進捗を把握できるようにした。 また、各節において、関連計画の概要と、目標・指標の進捗に係る表についても併せて掲載することとした。</p>
<p>現場から出てきた問題と目標との間で乖離がある場合、それが発生した原因についても記載してはどうか。【遠井委員（第2回）】</p>	<p>令和元年度から、第2章各節において、環境基本計画で示す施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととし、環境基本計画で掲げる目標や指標の達成へ向けた進捗を把握できるようにした。</p>
白書の記載内容について	
<p>市として白書のどこを読んでもほしいのか、意図が伝わるような要約を記載してはどうか。【山中会長（第2回）】</p>	<p>令和2年度は、冒頭に特集ページを設け、令和元年度に特に重点的に実施してきたことをトピックスとして記載した。 また、引き続き、記載内容の重要な部分や要点をまとめた概要版を発行するとともに、冒頭「札幌市環境白書の発行にあたって」の中でも、白書の性質や概要等について記載する。</p>
<p>冒頭「札幌市環境白書の発行にあたって」の中で、その年札幌市として一番の目玉と考えていることをまとめてほしい。【山中会長（第4回）】</p>	<p>令和2年度も、冒頭「札幌市環境白書の発行にあたって」で記載する予定。また、特集ページでも記載した。</p>
<p>第1章（世界、日本の状況）をもう少し詳しくし、様々な分野のトピックスを入れてはどうか。【石井副会長（第2回）】 気候変動の分野では、近年、都市が率先してリーダーシップを発揮し、政府にプレッシャーをかけなければならないと国連の事務総長も言っている観点からすると、第1章（世界、日本の状況）で、事実関係の描写をもう少し書き加えた方がよいのではないか。【遠井委員（第4回）】</p>	<p>令和2年度は、冒頭の特集ページで記載を充実させた。</p>
<p>第1章（世界、日本の状況）で、ポスト愛知目標に対し、札幌市として何をしたいのか入れてほしい。 第1章（市の概況・気候）で、その年の特徴（令和元年度は雪が少なかった）を記載してほしい。【有坂委員（第4回）】</p>	<p>ポスト愛知目標については、今後その内容を受けた形で生物多様性さっぽろビジョンを改定予定であるため、改定年度（令和4年度予定）以降の環境白書に記載することとしたい。 また、令和2年度は白書の構成を見直したため、気候の特徴については記載していない。</p>
<p>「札幌が目指す将来像」（第2次環境基本計画の第3章）についての記載がないので、理念やSDGsとの関係などを記載してはどうか。【石井副会長（第2回）】</p>	<p>令和2年度は、第1章の中で「3 札幌市が目指す将来像」や「5 SDGsとの関連性」を明確に記載した。</p>
<p>目次レベルで「札幌が目指す将来像」の記載を入れてはどうか。【石井副会長（第4回）】</p>	<p>令和2年度は、第1章の中で「3 札幌市が目指す将来像」を明確に記載した。</p>
<p>「5つの施策の柱」の説明がわかりにくい。【有坂委員（第4回）】</p>	<p>令和2年度は、第1章「4 将来像を実現するための5つの柱」でわかりやすく記載した。</p>
<p>SDGsのわかりやすい説明として、コラムを入れてほしい。【田原委員（第4回）】</p>	<p>令和2年度は、第1章「5 SDGsとの関連性」とコラムでわかりやすく説明した。</p>
<p>環境基本計画の各柱に対して関連するSDGsのゴールが紐づけられているが、それに対する評価はどう行うのか。【遠井委員（第2回）】</p>	<p>第2次環境基本計画では、SDGsの考え方を取り入れ、施策の推進にあたり複数分野の課題の同時解決やあらゆる主体の連携等の視点を重要視することとしており、環境基本計画で示す施策（の方向）を推進することで、計画の目標や指標のみならずSDGsの達成へもつなげていくこととしている。 令和2年度は、第2章各節において「2030年の姿に対する現状と課題」を記載するとともに、令和元年度に引き続き、施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示した。</p>

<p>第2節「積雪寒冷地に適した低炭素社会の実現」を「脱炭素社会」に変更できないのであれば、脱炭素に向けたステップとして「低炭素を目指しているが、2050年に向けては脱炭素に向かう」という内容を入れてほしい。【有坂委員（第4回）】</p>	<p>令和元年度は、冒頭「札幌市環境白書の発行にあたって」で「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指すことを記載した。令和2年度は、冒頭の特集ページで記載した。</p>
<p>環境基本計画の施策の柱3「資源を持続可能に活用する循環型社会の実現」について、食品廃棄物や廃プラスチック対策の内容を入れてほしい。【宮内委員（第3回）】</p>	<p>令和2年度は、第2章第3節において、食品廃棄物や廃プラスチック対策に係る令和元年度の実績、課題等を記載した。</p>
<p>豊かな自然等、札幌ならではの環境の魅力や、課題を訴える内容を入れた方がよい。また、森林や生物多様性をはじめ、周辺市町村との関わりについても言及するべきではないか。【有坂委員（第3回）】</p>	<p>令和元年度に引き続き、第2章第4節において、札幌の環境や動植物の魅力等を記載した。</p>
<p>野生生物との関わりが全く書かれていないので、入れてほしい。【有坂委員（第4回）】</p>	<p>令和2年度は、冒頭の特集ページや第2章第4節において記載した。</p>
<p>「課題・評価」は、何がボトルネックになっていて、どう対処していくのか明確に書いてほしい（課題・評価の欄に課題への対応策や今後の予定が書かれていたり、内容が重複している）。【遠井委員（第4回）】</p>	<p>令和2年度は、記載内容を見直した。</p>
<p>市民にも分かりやすい表現にしてほしい。【遠井委員（第3回）】</p>	<p>引き続き、分かりやすい表現になるよう配慮した。</p>
<p>環境基本計画の評価という位置付けから脱してもよいのであれば、環境基本計画策定時に審議会から出ていて、結果消えてしまった文言（個別施策への踏み込んだ意見）を復活してほしい。【大沼委員、遠井委員（第4回）】</p>	<p>環境基本条例第9条では「環境基本計画に基づき実施された施策の状況を明らかにするため、札幌市環境白書を定期的に作成」と記載されており、基本的には計画に沿って作成するもの。令和2年度は、いただいた意見を各担当部局へフィードバックした。</p>
<p>必要のないものは大胆に切り捨て、特に重点的にやるべきことをその年ごとに選んで書くという手法もある。【遠井委員（第4回）】</p>	<p>令和2年度は、冒頭の特集ページを設けて、令和元年度に特に重点的に実施してきたことをトピックスとして記載した。</p>
<p>第1部として今年の関心事を記載し、第2部で毎年同じ値を出すことで点検するという手法もある（令和2年度は早めに準備して、構成を変更したり、大胆に踏み込んだものにしては）。【山中会長（第4回）】</p>	<p>令和2年度は、冒頭の特集ページを設けて、令和元年度に特に重点的に実施してきたことをトピックスとして記載した。また、引き続き、第2章では、環境基本計画で示す施策の方向毎に「実績」「課題・評価」「今後の方向」を示すこととし、環境基本計画で掲げる目標や指標の達成へ向けた進捗を把握できるようにした。</p>
<p>SDGsの枠組を使うことの意味や有効性の理解を促すため、個別のセクションではなく、他のセクションと関連付ければ解決できるなど、横断的な解決方法やアプローチについて具体例の記載があるとよい。【遠井委員（第5回）】</p>	<p>令和2年度は、SDGsに関する記載について、第1章で丁寧に記載した。具体例の記載については、今後の課題としたい。</p>
<p>札幌市は、市民に開かれた場で政策について考えてもらう場をたくさん持っていて、全国的に見ても方法や回数が先進的であるため、そのような場で市民の意見を聞いているということをしっかり書くべき。【有坂委員（第5回）】</p>	<p>令和2年度は、特集や第2章第5節で記載した。</p>
<p>「特集」と「札幌市が目指す将来像」は2050年に向けての記載が書いてあるが、本文は2030年をターゲットにしているのので、2030年～2050年を何らかの形で埋めるような記載があった方がよい。【荒木委員（第5回）】</p>	<p>第1章「4 将来像を実現するための5つの柱」、「6 点検・評価」で、環境基本計画で掲げている2050年の将来像と2030年の姿についての関係を説明した。</p>
<p>特集の記載内容について</p>	
<p>環境白書の5つの柱の横断的なもの、抜けてしまっているもの、個別計画で生かしてほしいこと、特別に成果が出たこと、どの柱にも属さないものなどを記載して、計画の各分野のアピールに使えばよい。【石井副会長（第5回）】 毎年のもを書くのではなく、必要に応じて札幌市の環境のために何が重要かということに記載すると、札幌市が今後アピールしていきたいことだという意思表示にもなるので重要な部分になる。【山中会長（第5回）】 民間や他の立場と連携した事例を記載すると、市民に身近に捉えてもらえることにつながる。【小路委員（第5回）】</p>	<p>意見を踏まえて特集部分を作成した。</p>

白書の検討の進め方について	
<p>白書は札幌市の責任で作成し、審議会からは適宜意見を述べるという形になると思うが、完成形だけをいきなり見せるのではなく、途中段階の情報を都度審議会で出してほしい。</p> <p>なお、できれば令和元年度版は令和元年度中に白書に意見を反映してほしいという気持ちもあるが、難しいものもあると思うので、次年度以降にうまく反映できるようにコメントとして残すということをしてほしい。そうして、複数年で完成度を上げていければよい。【山中会長（第3回）】</p> <p>本来、環境白書の中身に対する議論をすべきだが、審議会の時間だけで議論するのは難しいので、事前に意見を集めて、それをベースに議論してはどうか。【石井副会長（第5回）】</p>	<p>令和2年度は、作成途中段階の白書に対して意見をいただけるようなスケジュールとしたが、事前の意見照会については、スケジュールが間に合わなかったため、来年度の課題としたい。</p>
<p>今後白書を担当する職員が変わったとしても、評価の仕方等が後任にしっかりと引継がれるよう、説明書及びガイドラインのようなものにまとめておいた方が良いのではないか。【遠井委員（第3回）】</p>	<p>評価方法等の引継ぎはしっかり行っていきたい。</p>
<p>環境白書上に表現しなくともよいが、審議会からの意見については、なんらかの形で各事業所管部署へフィードバックしてほしい。また、それに対する札幌市の対応について、環境審議会にもフィードバックされるような仕組みを考えていただきたい。【石井副会長（第3回）】</p>	<p>令和2年度は、庁内での白書原稿作成依頼時などを通じて、環境審議会からいただいた意見を各担当部局へフィードバックした。</p> <p>札幌市の対応（実績、課題認識等）については、第2章において実績、課題等を掲載し、審議会へ報告している。</p>